

令和5年度(2023年度)

第1回国立大学法人大分大学認定再生医療等委員会議事概要

日 時：令和6年3月22日(金) 14:00～14:30

開催形式：ハイブリッド開催

会 場：大分大学医学・病院事務部第一会議室(管理棟2階)

出席者：上村委員長、大橋委員、衛藤委員、富永委員、河原委員、青野委員、石川委員、馬場委員、高窪委員

欠 席：伊東委員

陪 席：山口医事課長、高森副課長、堀医事企画係長

【参考資料1】国立大学法人大分大学認定再生医療等委員会規程

【参考資料2】認定再生医療等委員会名簿

【参考資料3】第三十七条(認定再生医療等委員会への定期報告)再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則

【参考資料4】再生医療等提供計画の提出)第二十七条法第四条第一項

【資料1】再生医療等提供計画(治療)第一の二(第二十七条関係)

【資料2】大分大学医学部附属病院認定再生医療等に関する業務の実施に係わる業務手順書

【資料3-1】詳細を記した書類一式(多血小板血漿(PRP)を用いた難治性皮膚潰瘍の治療)

【資料3-2】PRS Diabetic foot ulcer

【資料3-3】特定細胞加工物概要書一式

議事に先立ち、上村委員長の指名により衛藤委員が副委員長となった。

【審議事項】

1. 認定再生医療等に係る審査について

(1) 定期報告

再生医療等の名称：多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療

報告期間：令和5年1月24日～令和6年1月23日

形成外科 清水講師から資料に基づき報告があった。なお、治療を行う予定であった患者が辞退したため、症例数は0件である旨報告があり、今後に向けての計画、他大学の実績、安全性等について説明があった。

**【質疑応答】**

- ・今回はどの段階で患者が辞退したのか。また、今後の可能性について伺いたい。
- 届出の時点では実施予定であったが患者自身の様態により今回は手術を望まなかった。なお、他大学病院でも実績があるので今後は積極的に勧めていきたい。

(2) 継続の適否について

審議の結果継続することです承された。

2. その他

委員長より委員の任期が本年6月4日までである旨説明があり、引続き委員の再任です承された。

なお、軽微な変更については、事務局及び委員長に一任いただくことです承された。